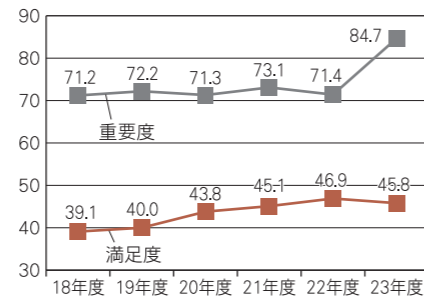


平成23年度調査結果の特徴

平成23年度の調査で期待度が高かった項目には、こんな特徴がありました。

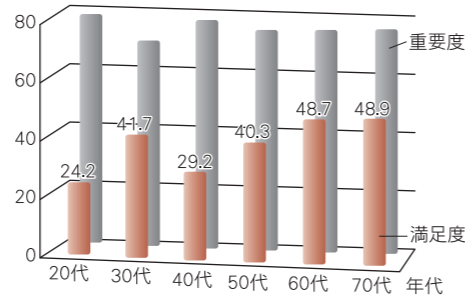
Point 1 東日本大震災の影響

今回の調査で期待度が最も高くなったのは、「防災・消防機能の充実」でした。
満足度の経年変化を見ると、平成18年度の39.1から年々上昇し、平成22年度には46.9になっていましたが、今回は45.8に下降しました。また、重要度は平成22年度の71.4から平成23年度の84.7と飛躍的に上昇しました。
東日本大震災による防災意識の高まりが今回の調査結果にも表れています。



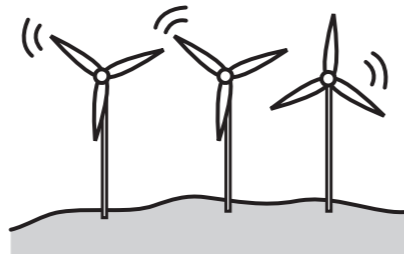
Point 2 年代による公共交通の違い

「公共交通の充実」について、年代別の満足度を見ると、50代、60代、70代の満足度は、40.3、48.7、48.9ですが、20代の満足度が24.2と極めて低くなりました。
ひばりタクシーが町内全域の高齢者の足として機能している一方で、若年層からは路線バスなど町外への移動手段が求められているようです。



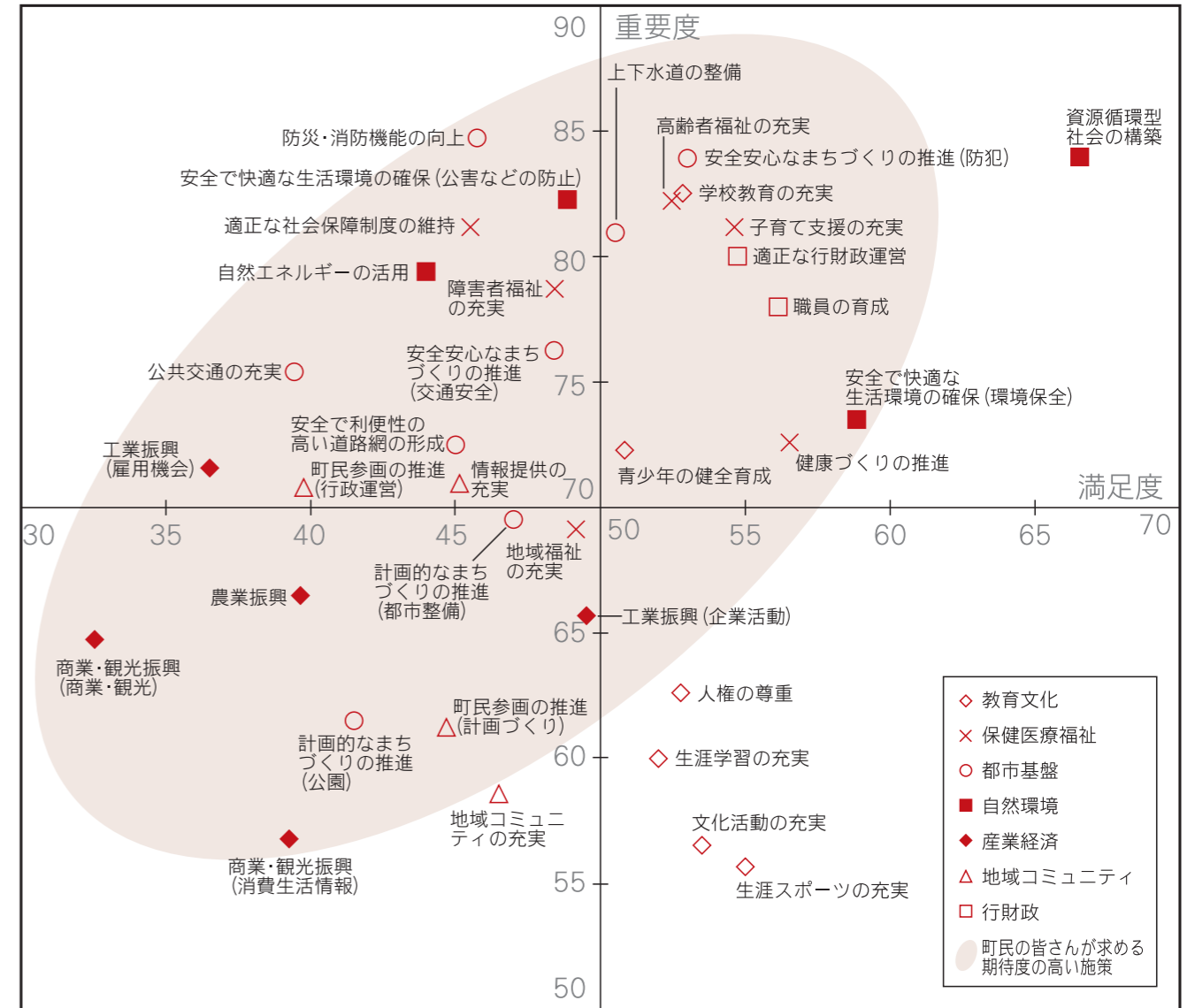
Point 3 原子力発電所の事故の影響？

「自然エネルギーの活用」については、どの年代もまんべんなく重要度が高くなりました。
3月11日に発生した原子力発電所の事故の影響からか、よりクリーンなエネルギーへの転換が求められているようです。



施策ごとの満足度－重要度グラフ

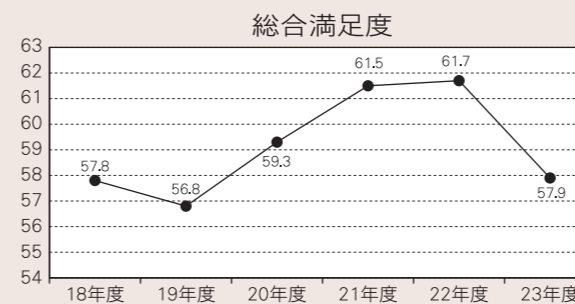
満足度を横軸に、重要度を縦軸にとっています。
このグラフの左上は重要度が高く、満足度が低い施策です。このグループに位置している施策が町民の皆さんが求める期待度の高い施策と考えられ、重点的・優先的に進めなければならないと考えられます。



町民満足度調査結果の分析について

町民満足度調査について、宇都宮大学国際学部の中村祐司教授に分析をお願いしました。
総合満足度についての中村教授のコメントを抜粋して掲載します。

「総合的に判断して、芳賀町に住んでいる満足度はどうですか」という設問に対して、満足度が57.9であった。平成18年度以降、平成21年度および平成22年度の満足度がそれぞれ61.5、61.7であったのだから、平成23年度も6割強を達成してほしかった。ただし、満足度が6割に届かなかった背景には、東日本大震災後の町民の不安感があったと思われ、その意味でもこれからの芳賀町の防災行政の進め方は、来年度のアンケート調査における満足度に直結するであろう。



このほか、各分野ごとに年代別・経年変化も含めた分析をしていただいています。中村教授の分析全文と満足度調査結果の詳細は、芳賀町ホームページに掲載しています。

ぜひご覧ください。
芳賀町TOP > 町政情報 > 行政評価 > 町民満足度調査結果 > 平成23年度

<http://www.town.haga.tochigi.jp/chouseijouhou/gyouseihiyouka/index.html>